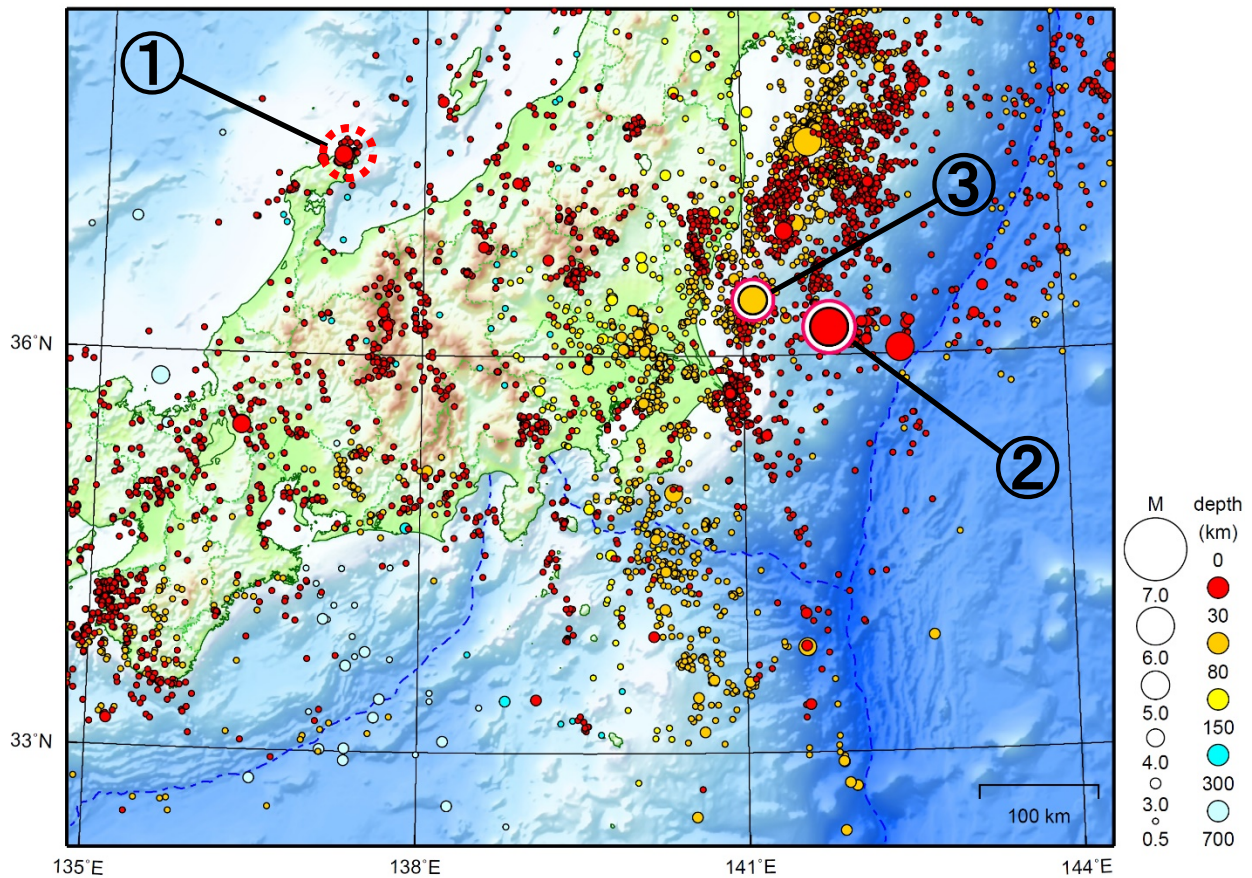


関東・中部地方

2021/08/01 00:00 ~ 2021/08/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 石川県能登地方では8月中に最大震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：3回、震度1：9回）発生した。

8月13日16時50分に発生した能登半島沖の地震（最大震度1）を含む。

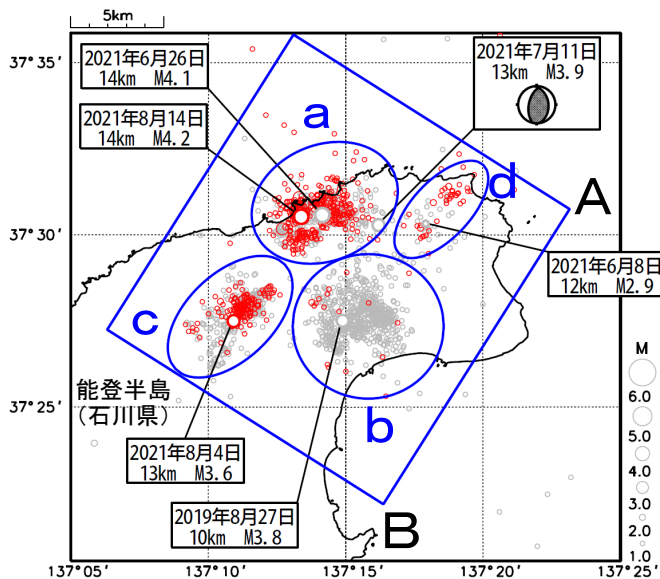
- ② 8月4日に茨城県沖で M6.0 の地震（最大震度3）が発生した。
- ③ 8月27日に茨城県沖で M5.1 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

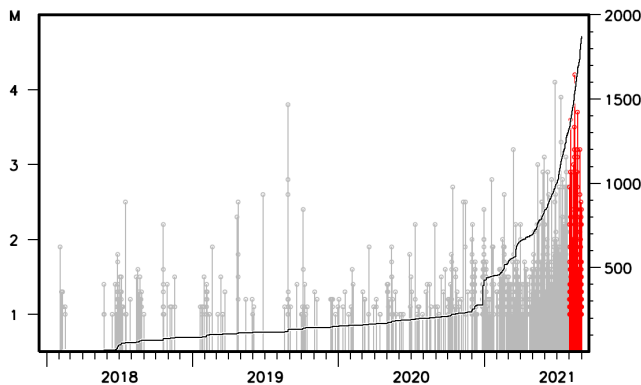
気象庁・文部科学省

石川県能登地方の地震活動

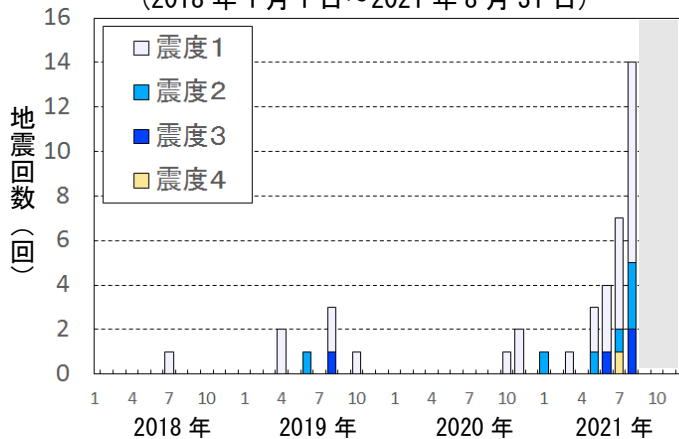
震央分布図
(2018年1月1日～2021年8月31日、
深さ0～25km、 $M \geq 1.0$)
2021年8月の地震を赤色で表示
図中の吹き出しの付いたものは、 $M \geq 4.0$ 、または最大
震度4、または各領域内で最大規模の地震である



上図矩形内のM-T図及び回数積算図



震度1以上を観測した地震の月別震度別発生回数 (注)
(2018年1月1日～2021年8月31日)

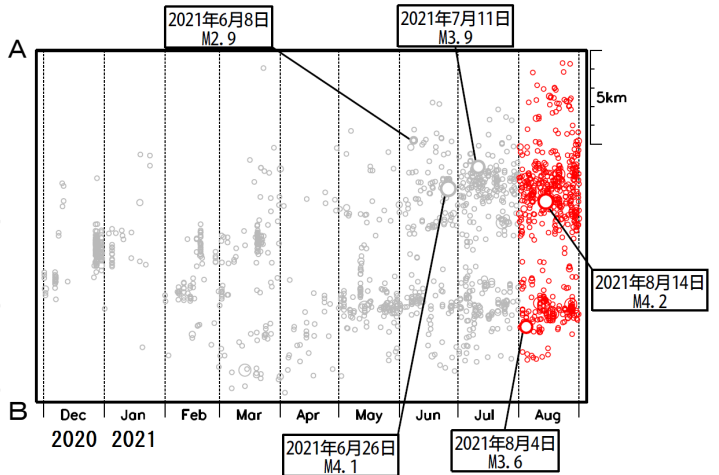


(注) 8月13日16時50分に発生した能登半島沖の地震
(最大震度1) を含む

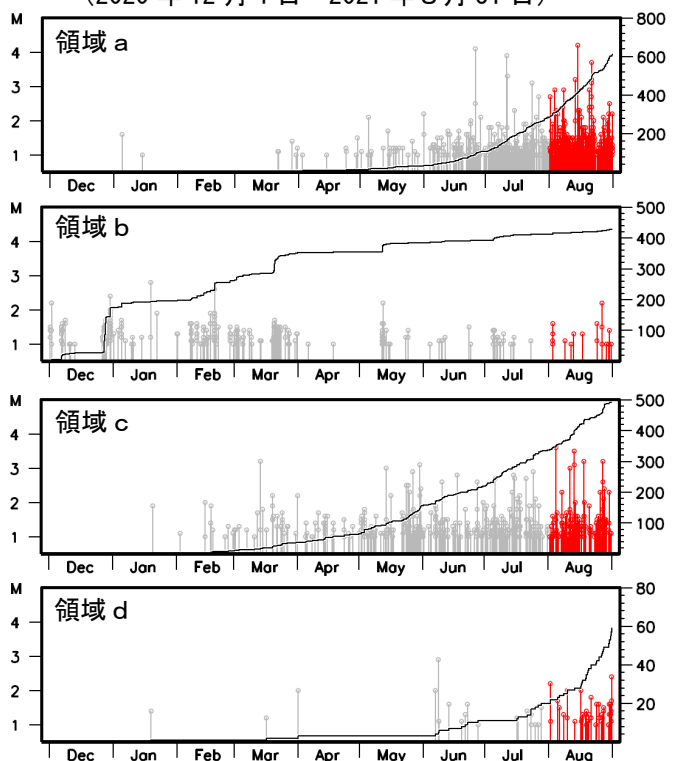
石川県能登地方では、2018年頃から見られる地震活動は、2020年12月以降、より活発な傾向になっている。この傾向は2021年8月に入っても継続しており、今月において震度1以上を観測した地震は14回(注)(震度3:2回、震度2:3回、震度1:9回)発生した。

2020年12月以降の地震活動をみると、12月から領域bで断続的にまとまった活動がみられ、その後、5月から領域cで、6月から領域aで活発となっている。最近では、領域a及び領域cの活動が活発である。7月下旬頃から領域dでも地震回数が増加している。また、震度1以上を観測した地震の回数も、2021年5月以降増加傾向にある。

震央分布図の矩形内の時空間分布図 (A-B投影)
(2020年12月1日～2021年8月31日)



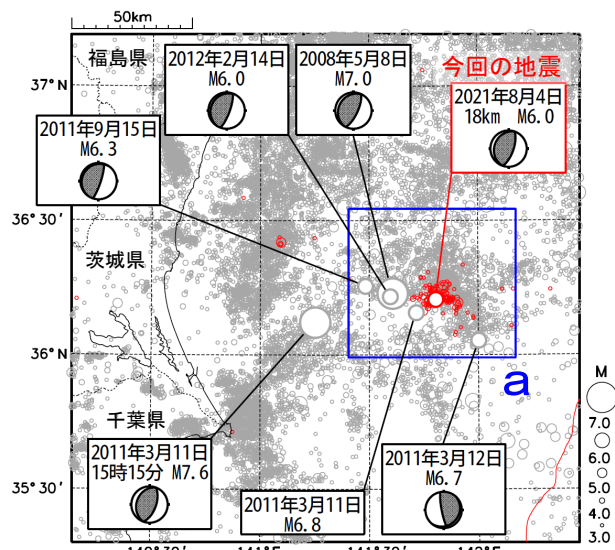
領域a～d内のM-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2021年8月31日)



気象庁作成

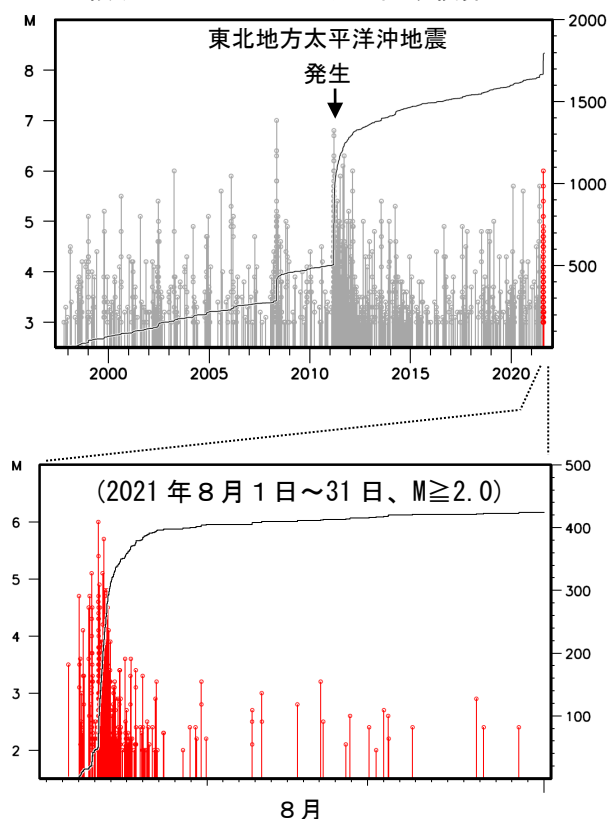
8月4日 茨城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2021年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2021年8月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



赤線は海溝軸を示す。

領域a内のM-T図及び回数積算図

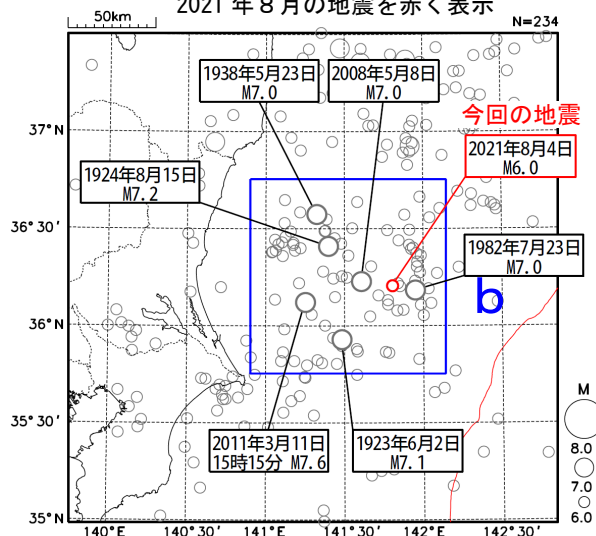


2021年8月4日05時33分に茨城県沖の深さ18kmでM6.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の震央付近（領域a）では、2021年8月3日から4日までに震度1以上を観測する地震が14回（震度3：1回、震度2：4回、震度1：9回）発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生している。また、2008年5月8日にM7.0の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者6人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

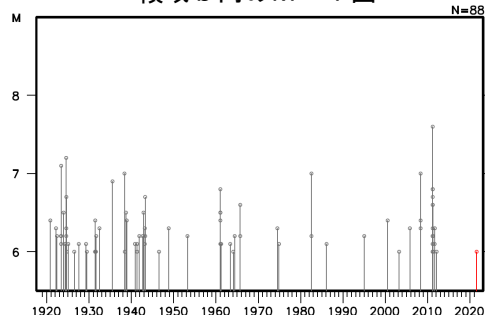
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生している。このうち、2011年3月11日15時15分に茨城県沖で発生したM7.6の地震（最大震度6強）は、東北地方太平洋沖地震の最大余震である。

震央分布図
(1919年1月1日～2021年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)
2021年8月の地震を赤く表示



赤線は海溝軸を示す。

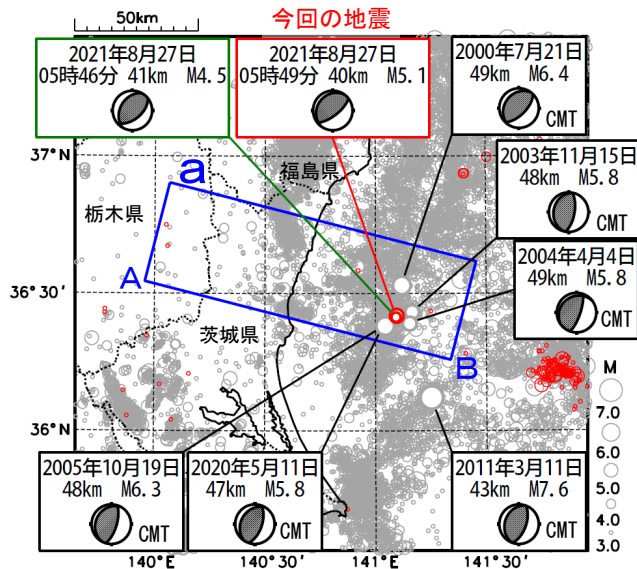
領域b内のM-T図



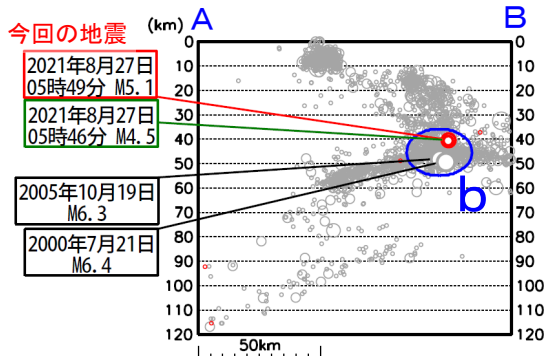
気象庁作成

8月27日 茨城県沖の地震

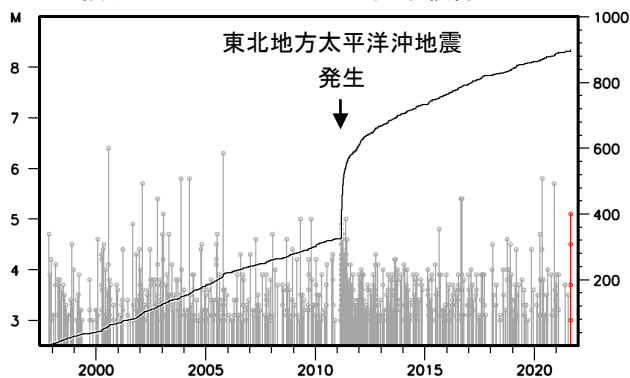
震央分布図
(1997年10月1日～2021年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2021年8月の地震を赤く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図

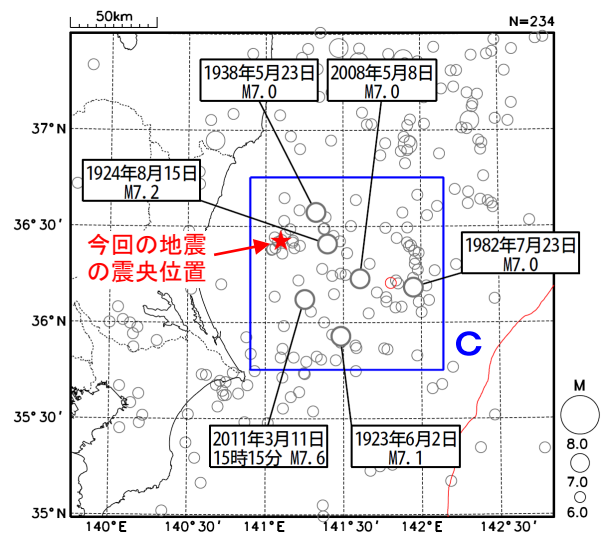


2021年8月27日05時49分に茨城県沖の深さ40kmで $M5.1$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、この地震の発生の3分前 (05時46分) にも、今回の地震とほぼ同じ場所で $M4.5$ の地震 (最大震度3) が発生していた。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。また、2005年10月19日に $M6.3$ の地震 (最大震度5弱) が発生し、負傷者2人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

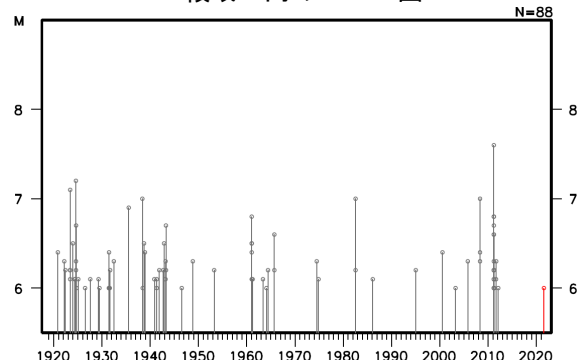
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。このうち、2011年3月11日15時15分に茨城県沖で発生した $M7.6$ の地震 (最大震度6強) は、東北地方太平洋沖地震の最大余震である。

震央分布図
(1919年1月1日～2021年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)
2021年8月の地震を赤く表示



赤線は海溝軸を示す。

領域c内のM-T図



気象庁作成